

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 証明書 番号
1	10月29日	広報紙 印刷代 2,000部 (令和3年11月 第19号発行)	株式会社 笹 軽印刷	224,400	1	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
10月 小 計				224,400		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	1
---------	-------	-----------	---

領 収 証

石岡千鶴子 様

NO. 38041

金額 千 円  
¥ 224,400

但し 議会だより、封筒印刷代として  
3年10月29日 上記の金額正に領収いたしました



内消費税	
現金	0
小切手	
手形	
振込	
相殺	

株式会社 笹 軽 印 刷 株式会社  
〒036-8203 弘前市本町76  
TEL 32-7530 TEL 33-2468  
(U-プリント)



支出目的・内容	広報紙 印刷代
備 考	
議会だより、封筒 (長3) 各2,000部 (令和3年11月 第19号発行)	

# 請 求 書

3年10月29日

石田千鶴子 様

株式会社

(U-プリント) 株式会社  
**笹 軽 印 刷**

合計 ¥ 224,400-

〒036-8203

弘前市本町76-

電話

(0172) 32-7530

FAX

(0172) 33-2785

摘 要	金 額	備 考
別紙請求書 / 枚	224,400	
前月請求残高		
差引請求金額	¥224,400	

毎々御引立を賜り有難く厚く御礼申し上げます。  
上記のとおり請求申し上げます。

振込先 {



請 求 書 令和3年10月29日

№

石田千鶴子 様

弘前市本町76-2

株式会社 **笹 軽 印 刷**

下記のとおり御請求申し上げます

TEL 32-7530

U-プリント TEL 33-2468

品 名	数 量	単 価	金 額
議会E紙 (A3, A4)	2,000		160,000
封筒 (長3, 147x107)	2,000		44,000
(消費税)			20,400
<b>合 計</b>			<b>¥224,400</b>

令和3年 11月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	払 明 書 番 号
1	11月4日	広報紙 別納郵便料 区内特別 @73円×1,454通 第一種 @84円×342通	日本郵便株式会社	134,870	2	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
11月 小 計				134,870		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	2
---------	-------	-------	---

領収書

石岡 千鶴子 様

[別納引受]  
 区内特別基 (定) 22.0g  
 @73 1,454通 ¥106,142

小 計 ¥106,142

第一種定形 22.0g  
 @84 342通 ¥28,728

小 計 ¥28,728

郵便物引受合計通数 1,796通  
 課税計 (10%) ¥134,870  
 (内消費税等 ¥12,260)  
 非課税計 ¥0

△計 ¥134,870  
 □計 お預り金額 ¥134,870

印紙税申告納  
 付につき麴町  
 税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社  
 東京都千代田区大手町2-3-1  
 取扱日時：2021年11月 4日 12:13  
 発行No. 211104A0933 端N18箱01  
 連絡先：弘前茂森町郵便局  
 TEL:0172-35-2735

支出目的・内容	広報紙 郵便料
---------	---------

備 考

別納郵便料  
 区内特別 @73円×1,454通 計134,870円  
 第一種 @84円×342通



# しもゆぐちからの発信

あなたと共にあゆむ「ちづ子」のおしごと

発行：石岡ちづこ

〒036-8217 弘前市茂森町137

TEL&FAX：0172-88-7668 E-mail：chizukoi@olive.ocn.ne.jp



## 第19号

令和3年(2021年)第3回定例会 一般質問より

### 「弘前市少年野外研修場」について。

大石神社右手に、「弘前市少年野外研修場」という看板が立っていました。弘前市にこんなのがあったかな?と思いつきながら、奥へ奥へと歩いていくと、樹齢30年以上も経とうかという白樺の樹が50メートルほど並列して植えられており、それを過ぎると、広場らしき痕跡がわずかに残る芝生と、背丈以上に繁茂した雑草の奥には、バンガローらしき建物が数棟。トイレや炊事場もあります。なぜこのような施設がこのような状態で放置されているのか理解できませんでした。いつ何の目的で建てられたのか。利用状況について聞きました。

#### A 教育委員会 生涯学習課

「弘前市少年野外研修場」は、自然を生かした施設の中で、野外活動やキャンプ等を通して、家庭や学校では経験できない体験と学習を行うことを目的に、昭和52年に開設したものです。敷地面積は4ヘクタール。開設当時は市内各地の子ども会を中心に活用されていましたが、年々利用者が減少し、平成11年度以降、年間の利用件数は2～3件でした。平成22年度以降は休止しています。

#### ここが言いたい!

野外研修場の管理費は年間50万円以上かかります。開設から休止するまでの33年間。休止してから今までも草刈り料として5万円かかっています。単純に計算してもこの研修場には1千700万円の税金が使われたこととなります。

長年の放置は行政の怠慢と税金の無駄遣いにほかなりません。早急に森に返すことを要望しました。



## 陸羯南の詩碑について

名山出名士(名山、名士を出す)  
 此語久相傳(この語久しく相伝う)  
 試問巖城下(試みに問う巖城(がんじょう)のもと)  
 誰人天下賢(誰(た)れ人(ひと)か、天下の賢)

これは陸羯南の「名山詩」です。

「名山の見える土地には逸材が育つと古くから伝えられているが、だとすれば、岩木山の見える弘前城下では誰が天下の賢なのか、諸君がそうであらねばならない。」現代語訳にすればおおむねこのような意味になります。

陸羯南は新聞「日本」を創刊し、明治の言論界を代表するジャーナリストで「名山詩」は郷里の後人に贈った叱咤激励の詩です。新聞「日本」をとおして国民主義をつらぬき、反面、後輩たちを暖かくむかえた陸羯南は1907年(明治40年)51歳で亡くなりました。羯南を敬慕した故鳴海康仲(やすなか)氏らが中心となって昭和28年9月、弘前の街並みが見下ろせる狼森鷲巢に彼の偉業をたたえる碑を建てたものです。

長い年月を経て詩碑の痛みが進んでいるばかりか、建てたときには詩碑から岩木山が正面に見えていたであろう景色も、今は高い樹木にさえぎられ見ることはできません。また詩碑までの道は、遊歩道になっていますが、木材で作られた階段は崩れたところもあり、時期にもよりますが、落ち葉や草でおおわれ、どこが歩道なのかわからないところもあります。

陸羯南の詩碑は弘前市にとって大切な文化資源のひとつです。市が全面的に管理する。または市と共同で管理できないものでしょうか。



### A 教育委員会 生涯学習課

詩碑は、鳴海病院の創始者である鳴海康仲氏が建立しました。詩碑のある敷地の維持・管理は、地元狼森地区住民の協力を得ながら鳴海家が行っています。

敷地は鳴海家が所有する民有地であるため、市が整備することは難しいと認識しています。

### ここが言いたい!

弘前市は陸羯南の功績を市立郷土文学館や市のホームページなどで紹介しながら周知を図っています。その情報を知った訪問客が詩碑の周辺を見たらどう感じるでしょうか。

他方、長年放置されているキャンプ場に、市費を投じ続けていた事例もあります。これらを精査し、たとえ民有地とはいえ知恵を出し合って、整備すべき所はきちんと手立てすべきだと思います。

## 観光行政について

2023年には「白神山地世界自然遺産登録30周年」を迎えます。世界自然遺産白神のおひげ元、玄関口として弘前市はどのような取り組みを考えているのかお伺いします。

## A 観光部 国際広域観光課

秋田県域までを含めた広域連携組織である「環白神エコツーリズム推進協議会」に加入し、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全に繋がることを目指す取り組みに参画しています。

### ここが言いたい!

全国広しといえど平地にブナが育つ環境はこの津軽地方でしかありません。だからこそ私たちの身近な場所、330カ所ある都市公園や、学校の校庭に。またご家庭にブナの樹を植えてはどうでしょうか。

苗木代だけで費用はほとんどかかりません。植えて手を洗っても一時間はかかりません。市民の参画による取り組みが実現したあかつきには、世界にふたつとないブナ帯と共生する社会が生まれるはずです。官民一体となって新しい社会をつくっていただくよう要望しました。

### 山の専門家・根深 誠氏に聞きました。

柳田国男著『雪国の春』に、「東北の風光の美しさは紅葉の秋にある」と、いった一説があります。その美しさの理由は、わが国の冷温帯気候を代表する「ブナ帯」にあります。「ブナ帯」すなわちブナを主体とした「ミズナラ」、「カエデ」、「オオヤマザクラ」、「トチ」、「ウルシ」などの落葉広葉樹が山野を覆いつくしているからです。

東北を中心にしたブナ帯は、西日本の照葉樹林帯に対して、わが国の基層をなす二大文化論の一翼を担うのとして使われる言葉です。その多様な恵みの豊かさゆえ、縄文人の生活を支えていました。今に残るブナのたたずまいが「縄文の生きた化石」と呼ばれる所以です。

ブナは東北のみならず、北は北海道の渡島半島から、南は九州の大隅半島まで分布していますが、九州では標高千メートル以上の山間部に一部見られる程度で、北海道の渡島半島におい

ても全域という訳ではありません。この点、この津軽地方においては、海辺でもブナの適正地であり、現在でもごく一部、海岸沿いの寺社林にその残存がみられます。

では、なぜブナ林が平地から消えたのか。それは長い間の人間活動によって伐採されつづけて消えていった結果です。ですから、現在まとまった地域としては、白神山地にみられるブナ林が世界最大規模になってしまいました。ブナは世界に12種類あるとされていますが、その中でも日本ブナはわが国の固有種です。つまり日本最大が世界最大ということになります。

わが国最初に世界自然遺産に登録された白神山地のブナ林地帯。そして今年登録が決定した縄文遺跡。津軽地方には二つの世界遺産を有していますが、これはまさしくブナ帯文化の極みといえるでしょう。

実は弘前市では世界自然遺産に先駆けて当時の総務部長が音頭を取り、60本ほどのブナを植樹した実績があります。場所は運動公園の一角、津軽森林管理署の筋向いにあります。白神山地の世界遺産と一体化した社会づくりを夢に描いて、弘前市役所職員有志一同が試みた結果です。時代を先取りする先見の明があったと感心します。



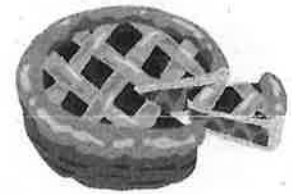
弘前市役所職員有志一同がかつて植樹したブナの整然としたたたずまい



## 学生支援にアップルパイで良かったのか？

弘前市議会予算決算常任委員会は、市が学生への支援と地元の魅力を知ってもらうことを目的に、市内の大学や専門学校11校に通う学生約6千人にアップルパイを配る事業費264万円を可決しました。しかし、石岡千鶴子、成田大介、今泉昌一、竹内博之の4委員は、学生の食を支援すること自体に異論はないとして、予算案に賛成した上で、「コロナ禍でアルバイトや仕送りが減り、生活費に困っている学生がいる状況を鑑みると、主食を支援するべきだ」とし、付帯決議を提出しました。決議案の採決では、4委員以外に賛成者はいませんでした。仮に付帯決議が成立しても法的拘束力はありません。なぜなら「予算には賛成するけど、使い道をもう少し考えてネ」の程度だからです。

同委員会で「付帯決議案」が出されたのは初めて。今後、より細部にわたる慎重な議論や審議が期待されます。



### 編集後記

議会が終わると次の議会までの間は、地域の身近な課題について勉強を深める期間となります。ある日、J A つがる弘前へ用事があって行ってきました。ロビーに入ると何やら見慣れない箱が置いてあって、中を開けてみるとお菓子やジュースが入っています。「広げよう！こどもの居場所！」と書かれたチラシも添えてあり、その内容は8回にわたり勉強会が開かれるというものでした。さっそく参加しました。弘前大学ボランティアセンター長の李<sup>い</sup>永俊<sup>よんじゆん</sup>氏から弘前市の子どものおかれている驚くべき実態が紹介され衝撃を受けました。格差社会がもたらす闇が、一番弱い子どもにそのしわ寄せがいつているのではないか。これから目が離せません！！

# 弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想

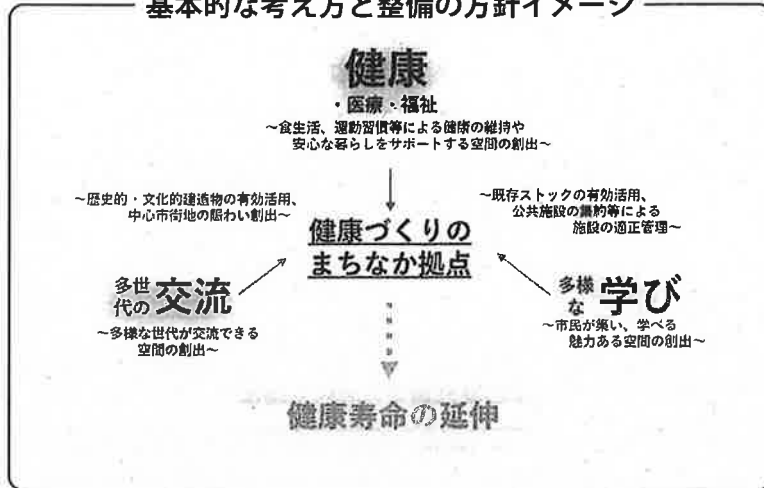
## ～健康づくりのまちなか拠点～

### (素案)

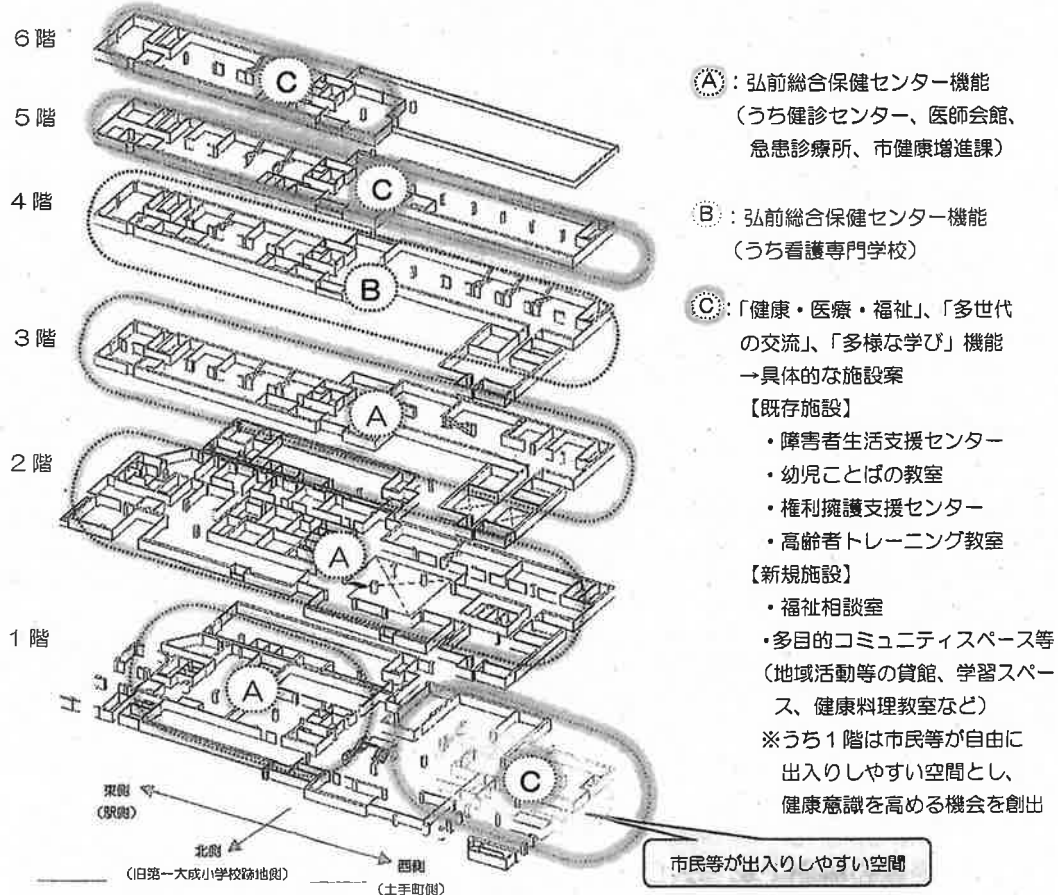
令和4年4月1日に予定される新中核病院の開院に合わせ、令和4年3月31日に弘前市立病院は閉院する予定です。

弘前市は、旧第一大成小学校跡地と併せ、今後の活用方針等に関する基本的な考え方を示しました。

#### 基本的な考え方と整備の方針イメージ

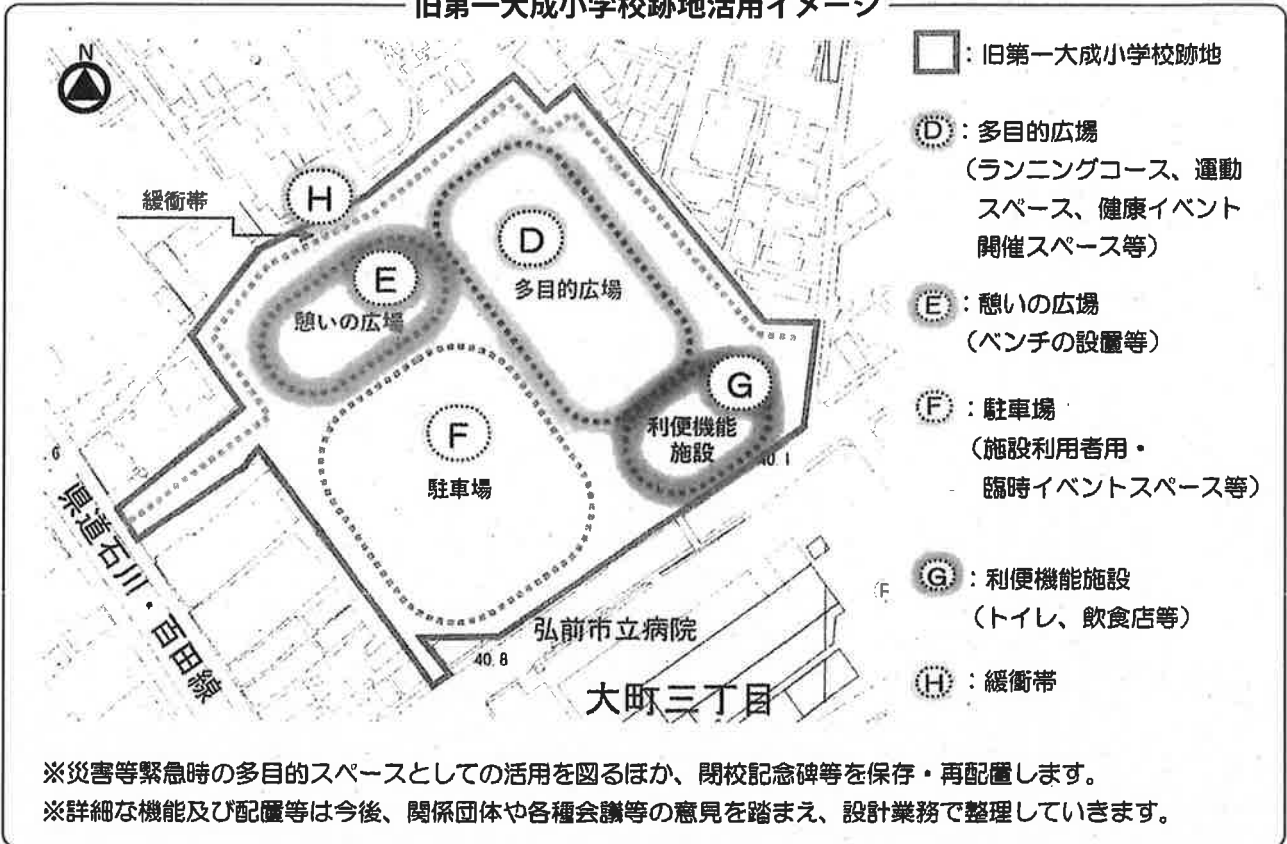


#### 弘前市立病院活用イメージ



※6階西側は耐震性向上のため撤去し、各階の耐震壁以外の壁は撤去・再配置し新たな空間を創出します。  
※詳細な機能及び配置等は今後、関係団体や各種会議等の意見を踏まえ、設計業務で整理していきます。

## 旧第一大成小学校跡地活用イメージ



### 事業スケジュール

弘前市立病院は令和4年3月31日に閉院し、令和4年4月1日以降は、清算事務(医療機器や備品の処分等)により1~2年は建物を使用する予定です。

よって清算事務期間である令和4年度から令和5年度頃にかけて設計業務を行い、令和6年度から令和8年度頃に工事に着手、令和9年度頃に共用開始を目指します。

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度~ 令和8年度	令和9年度~
弘前市立病院	→		→	→		
基本構想策定	→					
設計業務			→			
建設工事等					→	
供用開始						→

### 財源及び整備・管理手法

国の補助事業や地方交付税措置の割合の高い地方債など有利な財源を活用した整備のほか、官民連携による効果的な運営・維持管理が期待できる手法を検討します。

### 弘前市総合計画への位置づけ

本事業は地域の最重要課題である人口減少対策として取り組むものであるため、弘前市総合計画に位置づけ、整備完了後も当該地で実施される「健康寿命の延伸」に関する各種取組を評価・分析し改善を図ります。

令和3年11月吉日  
弘前市議会議員  
石岡千鶴子

各位

議会だより『しもゆぐちからの発信』  
第19号の送付について

拝啓

新型コロナウイルス感染症拡大もようやく収束の兆しが見られるようになりました。晩秋の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、この度、『しもゆぐちからの発信』第19号ができましたのでお送りいたします。ご高覧の上、ご助言いただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

弘前市議会議員 石岡千鶴子

〒036-8217 弘前市茂森町137番地

TEL・FAX 0172-88-7668

メールアドレス: [chizukoi@olive.ocn.ne.jp](mailto:chizukoi@olive.ocn.ne.jp)